

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	母子の健康相談事業				
根拠法令等	母子保健法		A(法令)	B 条例	C 規則	D その他	E なし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の乳幼児の母親に
手 段	育児・発達・健康診査後の相談にのることによって
想定する成果	育児不安を軽減し、母親が自信をもって子育てできる。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績		平成15年度実績		平成16年度計画	
相談事業実施回数と利用者数	76回	1,208人	88回	1,224人	109回	1,240人
内赤ちゃんサロン	12回	437人	7回	279人	25回	300人
内子育て相談	38回	719人	39回	844人	34回	840人

④成果指標

成果指標名	①	②
	1回当たりの利用者数	相談1回開催当たり
成果指標の説明	年間延利用者数/年間実施回数	年間事業費/年間実施回数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	11.4人
	実績	15.9人	13.9人	—
成果指標 ②	計画	—	—	80.6円
	実績	121.5円	96.0円	—
事業費	事業費	250	434	431
	人件費	8,984	8,015	8,353
	(人数)	1.3	1.2	1.0
	合計	9,234	8,449	8,784
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,234	8,449	8,784

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	限られた時間の中、1回当たり16人の利用者数はほぼ目標に近い。
経済効率性	2	2	事業費（人件費を除く）は少額で、経済効率性は高い。
事務効率性	3	3	保健師が主として実施しており、主任児童委員及び、本の読み聞かせボランティアの協力を得ており効率性に問題はない。
必要性	2	2	子どもの育児、子育ての方法等母親のニーズと、具体的な状況把握をするために必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	相談時に市民の意見・要望を聞き取っている。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	母親の育児不安を軽減し、母親が自信をもって子育てができるよう支援し、地域保健にとって重要な事業である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

「赤ちゃんサロン」と「子育て相談」の開催場所を保健センターのみでなく、地域の児童館へ広げた。

⑧今後改善すべき点

より多くの母親が気軽に子育て相談を利用してもらえる相談場所を増やす。

⑨平成17年度予算に反映する項目

⑩組織、人員に関する提言

健康相談の窓口をより多くするために、臨時保健師で対応できるようにしていきたい。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
事業コード		事務事業名	母子の歯科健診とフッ素塗布事業	
根拠法令等	母子保健法		A ^注 令 B 条例 C 規則 D その他 E なし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の幼児と妊婦に
手 段	歯科健診及び幼児にフッ素塗布をしてもらうことで
想定する成果	乳歯のむし歯予防及び妊婦の歯の健康増進を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
延対象者数	5,857人	5,809人	5,780人
延受診者数	1,245人	1,263人	1,283人
実施回数	48回	48回	48回

④成果指標

成果指標名	① 受診率	② 1回当たり受診者数
成果指標の説明	年間延受診者数/年間延対象者数×100	年間延受診者数/年間実施回数

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	22.2%
	実績	21.3%	21.7%	—
成果指標 ②	計画	—	—	26.7人
	実績	25.9人	25.3人	—
事業費	事業費	2,134	2,144	2,288
	人件費	721	710	719
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,855	2,854	3,007
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	1,137	1,184	1,200
	一般財源	1,718	1,670	1,807

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	受診率は低い毎年利用者は増加している。
経済効率性	2	2	一人当たりの一般財源約1300円で受診率はほぼ横ばいである。対象者に健診の周知をし、受診者を増やすことが課題である。
事務効率性	2	2	非常勤職員の歯科衛生士1人と臨時職員で行っており、効率性に問題はない。
必要性	2	2	母子保健法に基づき実施しており、幼児と妊婦のむし歯予防と早期発見のために必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	2	歯科保健指導時に市民の意見を聞き取っている。
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	母子保健法に基づき実施しており、幼児と妊婦の歯の健康保持のために必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> 平成15年度より健診の歯科医師委託料を45,780円から44,415円に減額をした。 平成15年度より1・6か月健診で歯科の要治療者には電話にて周知した。
--

⑧今後改善すべき点

受診率を上げるために母子関係事業等で健診とフッ素塗布事業を周知していきたい。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	一般保健衛生事業		
根拠法令等			A法令	B条例	C規則 Dその他 <input type="radio"/> Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に
手 段	献血、広域第2次救急医療運営事業、県広域災害救急医療システム、在宅当番医制を推進することで
想定する成果	安全で安心な環境を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
献血の実施回数と参加者数	46回 1,889人	48回 2,077人	48回 2,487人
広域第2次救急医療の蒲郡市民病院の当番回数と受診者数	45回 1,962人	45回 2,178人	45回 2,185人
在宅当番医制の利用者数	365回 592人	366回 576人	365回 570人
広域第2次救急医療運営負担金	1,655千円	1,701千円	1,720千円
県広域災害救急医療システム負担金	1,528千円	1,527千円	1,503千円
在宅当番医制の委託料と補助金	12,211千円	11,844千円	11,844千円

④成果指標

成果指標名	献血1回当たりの参加者数	② 広域2次救急医療の市民病院1回当たりの受診
成果指標の説明	年間延参加者数/年間実施回数	年間延受診者数/年間当番回数

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	—	—	51.8人
	実績	41.1人	43.3人	—
成果指標②	計画	—	—	48.6人
	実績	43.6人	48.4人	—
事業費	事業費	16,113	15,842	15,783
	人件費	413	406	418
	(人数)	0.05	0.05	0.05
	合計	16,526	16,248	16,201
財源内訳	国	0	0	0
	県	4,107	3,560	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	12,419	12,688	16,201

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	市民の献血意識の高揚する中、献血者数は増加してきている。在宅医の患者数は減少傾向にある。
経済効率性	2	2	82000人の市民の安全安心のための単価としては効率性に問題はない。在宅当番医制運営は経済効率性は低い。
事務効率性	2	2	委託事業のため効率性に問題はない。
必要性	2	2	災害救急医療システム・広域第2次救急医療運営費負担は市民の安全安心な環境のために必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	2	献血実施会場等で市民の意見を聞き取っている。
合計	9 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	災害・救急医療等、市民のニーズも高く市民の安心安全な生活を守るために、必要不可欠な事業。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

平成15年度に在宅当番医制運営委託料を4,239千円から4,112千円に補助金を7,971.6千円から7,732千円に減額をした。

⑧今後改善すべき点

医師会在宅医での患者数は1日当たり1.6人で推移している状況と、平成16年度から県補助金の廃止決定に伴い在宅当番医制運営委託を検討する。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

在宅当番医制運営委託料と補助金を見直していきたい。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
事業コード		事務事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業	
根拠法令等	予防接種法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	65歳以上の市民に
手 段	インフルエンザ予防接種を市内の医療機関で予防接種してもらうことによって
想定する成果	インフルエンザの感染・まん延の予防及び重症化の防止を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
対象者数	16,322人	16,755人	17,200人
接種者数	7,459人	9,516人	10,000人
予防接種委託料	33,566千円	41,909千円	44,040千円
自己負担金	1,000円	1,000円	1,000円

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	接種率	接種者一人に要する経費
成果指標の説明	接種者数/対象者数×100	事業費－総自己負担額/接種者数

⑤事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	58.1%
	実績	45.7%	56.8%	—
成果指標 ②	計画	—	—	3,777.9円
	実績	3,864.1円	3,699.3円	
事業費	事業費	34,536	42,974	45,908
	人件費	1,653	1,623	1,671
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	36,189	44,597	47,579
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	7,367	9,394	9,800
	一般財源	28,822	35,203	37,779

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	接種率も年々向上してきており高齢者の6割弱が接種しておりほぼ目標に達している。
経済効率性	3	2	他市町村と同等の金額であり、高齢者のインフルエンザ感染率は下がっており効率性はある。
事務効率性	2	2	予防接種は医師会委託であり、職員の事務は受診票の準備送付が主であり、事務効率に問題はない。
必要性	3	2	予防接種法に基づいて実施しており、高齢者のインフルエンザ感染・まん延予防及び重症化防止のために必要である。
小計	10 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	電話や窓口の対応時に市民の意見を聞き取っている。
合計	12 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	予防接種法に基づき実施しており、高齢者のインフルエンザ感染・まん延を予防し、また重症化の防止に役立っており必要な事業である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

医師会の接種委託料の一人当たり単価を平成13年度・14年度の4,500円から15年度4,404円に引き下げた。

⑧今後改善すべき点

16年度ワクチンを市で一括購入し、医療機関に配布する方法で一人当たり接種料金を引き下げる
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

ワクチンを市で一括購入する等一人当たり接種料金を引き下げ、予算の軽減を計る。
--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	成人の個別健康診査と各種がん検診事業				
根拠法令等	老人保健法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の40歳以上の市民及び20歳以上の女性に
手 段	基本健康診査及び個別の胃がん・大腸がん・肺がん・子宮がん検診を受診してもらうことで
想定する成果	疾病予防と健康の増進を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
対象者数	110,171人	48,649人	50,440人
受診者数	21,393人	20,476人	21,400人
要精検査数	4,428人	4,062人	4,239人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	受診率	要精検率
成果指標の説明	受診者数/対象者数×100	要精検査者数/受診者数×100

⑤事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	42.4%
	実績	19.4%	42.1%	—
成果指標 ②	計画	—	—	19.8%
	実績	20.7%	19.8%	—
事業費	事業費	307,749	291,136	297,666
	人件費	8,263	8,117	8,353
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	316,012	299,253	306,019
財源内訳	国	16,866	16,521	16,989
	県	18,232	16,521	16,989
	市債	0	0	0
	その他	24,376	24,761	28,126
	一般財源	256,538	241,450	243,915

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	受診率も対象者の40%以上ありほぼ目標に近い。
経済効率性	2	2	受益者負担金を段階的に値上げしてきた。平成14年度にも見直し値上げを行った。
事務効率性	2	2	検診は医師会委託であり、市は受診票の送付、結果票の送付、負担金の収納であり効率性に問題はない。
必要性	2	2	事業所検診の受診機会のない自営業の方、高齢者主婦等のためにも必要である。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	実施医療機関及び医師会から市民の意見を聞き取っている。
合計	9 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	老人保健法に基づき実施しており、病気の早期発見、早期治療に役立っており、今後も市民の健康保持のために必要性がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・対象者の見直しを行い、受診希望者のうち過去3年間受診実績の無い者を対象者から除外し、受診実績の無い者は申請により対象者としていく方法に変更し、受診票の印刷製本費と郵送料の削減を行った。
- ・受益者負担金の見直しを行い平成14年度値上げを行った。

⑧今後改善すべき点

- ・検査項目の見直し等を含め委託料の減額を医師会に交渉していく。
- ・平成16年度検査項目の見直しを行い、委託料の値下げを行う。
- ・乳がん検診の検査方法を国の基準に合わせ経費の削減を計る。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
事業コード		事務事業名	成人の健康づくり教室事業	
根拠法令等	老人保健法		A法令	B条例 C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の成人の市民に
手 段	各種健康教室に参加してもらうことによって
想定する成果	成人の健康増進及び健康の知識の普及を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
実施回数	24回	18回	19回
延参加者数	574人	478人	513人
延講座定員数	940人	690人	670人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	1回当たりの参加者数	参加率
成果指標の説明	年間延参加者数/年間実施回数	年間延参加者数/年間延定員数×100

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	27.0人
	実績	23.9人	26.6人	—
成果指標 ②	計画	—	—	76.6%
	実績	61.1%	69.3%	
事業費	事業費	608	632	550
	人件費	4,958	3,247	3,341
	(人数)	0.6	0.4	0.4
	合計	5,566	3,879	3,891
財源内訳	国	341	228	343
	県	341	228	343
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	4,884	3,423	3,205

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	教室の開催回数を減らしたが参加者数に変動なく、市民への周知方法が課題である。
経済効率性	2	2	実施回数を減らし、一般財源の持ち出しは前年度を下回り成果を上げている。
事務効率性	2	2	実施回数を減らし、市民のニーズに合った教室に変容し、効率性を高めるよう改善している。
必要性	2	2	多くの市民に健康の知識を普及するために必要である。
小計	8 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	2	2	各教室のアンケート調査から、市民の意見・要望を聞き取っている。
合計	10 /15 満点中	10 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	老人保健法に基づき実施しており、健康知識を普及するために必要であり、気軽に参加できる事業を目標にした。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙教室を事業所の協力を得て事業所で実施した。 ・健康教室の医師の報償費の減額をした。

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・教室の参加者を増やしていくために、出前健康チェック事業等で幅広い層の市民に周知していく。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	寄生虫・ぎょう虫検査事業		
根拠法令等	学校保健法・厚生省令		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市の園児・児童・生徒に
手 段	寄生虫・ぎょう虫検査をしてもらうことによって
想定する成果	園児・児童・生徒の健康保持の増進を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
対象者数	18,600人	18,100人	17,440人
受検者数	18,292人	17,801人	17,143人
有卵者数	131人	103人	100人

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	受検者率	受検者の有卵者数
成果指標の説明	年間の受検者数/年間の対象者数×100	年間有卵者数/年間受検者数×100

⑤事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	98.3%
	実績	98.3%	98.3%	
成果指標 ②	計画	—	—	0.58%
	実績	0.72%	0.58%	—
事業費	事業費	1,878	1,826	1,811
	人件費	413	406	418
	(人数)	0.05	0.05	0.05
	合計	2,291	2,232	2,229
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2,291	2,232	2,229

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	受検率が98%以上に達しており目標どおりの事業である。
経済効率性	2	2	一人当たり単価が102円で受検率は横ばいであるが効率性は高い。
事務効率性	2	2	委託事業のため効率性に問題はない。
必要性	3	3	学校保健法に基づき実施しており、園児・児童・生徒の健康保持のために必要である。
小計	10 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	対象者の保護者から電話等の問い合わせ時に、意見を聞き取っている。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	学校保健法に基づき実施しており、園児・児童・生徒の病気の早期発見に役に立っており、今後も健康保持のために必要である。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

--

⑧今後改善すべき点

受検率100%を目標に周知していきたい。

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	休日急病診療所管理運営事業		
根拠法令等	蒲郡市保健医療センター管理規則	A法令	B条例	Ⓒ規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	医療

②事務事業の内容

対象（受益者）	休日に発生した急病患者に対して
手 段	診療所を運営することにより
想定する成果	安心して医療をうけることができるようにする。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
利用者数	1,896人	2,159人	1,946人
年間開設日数	71日	70日	70日
管理運営委託料	56,463千円	54,203千円	54,202千円

④成果指標

	①	②
成果指標名	1日当たりの診療所利用者数	患者一人要する一般財源
成果指標の説明	診療所利用者数/開設日数	一般財源/利用者数

⑤事業の進捗状況

（一般会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	—	—	27.8人
	実績	26.7人	30.8人	—
成果指標 ②	計画	—	—	20.3
	実績	20.7	17.4	—
事業費	事業費	56,463	54,870	54,940
	人件費	826	812	835
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	57,289	55,682	55,775
財源内訳	国	0	0	0
	県	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	18,064	18,121	16,187
	一般財源	39,225	37,561	39,588

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	利用者は少しずつ増加している。
経済効率性	1	1	周知成果により利用者が増加した。医師会の運営委託料の削減を図った。
事務効率性	2	2	運営は医師会に委託しており、市は収入事務等に限定されており効率性に問題はない。
必要性	2	2	休日・祝日・年末年始での急病患者のために必要性がある。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	医師会の休日診療所の担当者から、市民の声を聞き取っている。
合計	8 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各

総合評価	B	B	市民にも認知されてきており、利用者も着実に増加している。急病患者のために必要性はあると考える。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・広報・ポスター・チラシ等で診療所の周知をし、利用者の増加を図った。 ・平成14年度より幡豆町、幸田町の広報での掲載をお願いし周知を図った。 ・医師会運営委託料の削減を図った。
--

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の増加を図り、一般財源の持ち出しを減少させたい。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	市民福祉部	健康推進課	内線等	8078
事業コード		事務事業名	健康プラン策定事業	
根拠法令等			A法令 B条例 C規則 ① その他 Eなし	

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
健康で安心して暮らせるまちづくり	保健

②事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民に
手 段	自分のできる健康づくりに取り組んでもらうための「健康プラン」を策定することにより
想定する成果	市民の健康増進を図る。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
計画策定	<ul style="list-style-type: none"> 「健康に関するアンケート」実施 住民ワーキングの公募と立ち上げ 目標の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 大目標・中目標・小目標の決定 実行計画の策定 計画書策定 	<ul style="list-style-type: none"> 計画書、ダイジェスト版印刷配布 推進グループの募集の立ち上げ 計画推進

④成果指標

成果指標名	①	②
	住民ワーキング応募状況	ワーキング会議開催状況
成果指標の説明	グループ20名×3グループ=60名を予定し54名が応募	5グループ（行政グループを含む）×月1回開催×2時間

⑤事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	—	—	—
	実績	90.0%	90.0%	—
成果指標②	計画	—	—	—
	実績	17回 34時間	20回 40時間	—
事業費	事業費	358	266	1,033
	人件費	23,136	22,728	167
	(人数)	2.8	2.8	0.02
	合計	23,494	22,994	1,200
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	23,494	22,994	1,200

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	3	策定日程どおりに策定でき、目標を達成した。
経済効率性	2	2	アンケート、集計、実行計画策定、計画書編集等すべて手作りで行い、経費を極力抑制した。
事務効率性	2	2	市民ワーキンググループを中心として策定しており、現有職員で取りまとめ等を行っており事務効率に問題はない。
必要性	2	2	市民自ら取り組んでもらう計画になっており、市民の健康増進には必要である。
小計	8 /12 満点中	9 /12 満点中	
市民参加度	3	3	計画は公募した市民54名を中心としたワーキンググループで策定しており、市民が作成した計画である。
合計	11 /15 満点中	12 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	公募した市民を中心として策定しており、市民自ら取り組んでもらう計画になっており、市民の健康増進には必要である。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・公募した市民54名のワーキンググループを中心として策定した。 ・策定委員17名中女性委員6名の構成とした。

⑧今後改善すべき点

--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載